

長研だより

No. 1

発行日

令和3年11月25日(木)

令和3年度の長期研修がスタートしました！



9月24日(金)より、令和3年度の長期研修が始まりました。新型コロナウイルス感染症予防のため、開講式を間隔を広くとれる講堂にて行いました。

猪瀬宝裕所長からは、長期研修生に向けて、次の三つの話がありました。

- ① 与えられた研修の機会と時間を有効に活用してほしい。
- ② 研修生同士の研鑽にも努めてほしい。
- ③ 場所は離れていても、学校や児童生徒をイメージしながら研修に努めてほしい。

また、長期研修生の代表挨拶は、「予測が難しいこの時代に、『主体的・対話的で深い学び』の実現を目指して研究を推進し、本研修の意義と使命を果たしたい。」との決意が伝わる内容でした。

22人の長期研修生にとって、充実した日々となるよう、センター職員一同、支援していきます。

研究計画の作成に着手しました！

午後は、研究分野ごとのグループに分かれて研究計画の作成に取り組みました。

学校の子供生徒の実態に応じた実践的な研究について協議を進めました。長期研修生は、指導主事・主査の助言に対して、熱心に耳を傾けていました。

長期研修生一人一人が、自身の研究の今後の方向性について見いだせたようです。研究への意欲をさらに高めることができた第1日となりました。

